

アートミーツケア学会スペシャルセッション

# 言葉の力、音楽の力 — 感応する魂 —

申し込み  
不要

人が豊かに暮らしていくには、衣食住が満たされていることだけでなく、自分自身を表現すること、そして表現したものをうけとめてくれる人や環境があることが必要なのではないのでしょうか。「生きることは表現すること、表現することは生きること」と言えるでしょう。

ここでは、奈良少年刑務所での絵本と詩の教室の取り組みや、童謡をととした国内外での交流活動、障害のある人の書いた詩をメロディーにのせて多くの人に届けるプロジェクトなど、言葉や音楽によって表現することで、生きる力を取り戻したり、人と人をつないできた活動を紹介しします。ぜひお気軽にご参加ください!

2019年11月24日[日] | 15:00~16:30 |

参加費: 無料 会場: 近畿大学EキャンパスG館 202教室

(〒577-8502大阪府東大阪市小若江3丁目4-1)

\* 本企画はアートミーツケア学会2019年度総会・大会のなかで行います。大会のなかでは参加費が必要なプログラムもありますので、ウェブサイト等でご確認のうえ、ぜひあわせてご参加ください。

主催: アートミーツケア学会

ゲスト



寮美千子

作家・詩人。1955年東京生まれ。1986年毎日童話新人賞を受賞してデビュー。2005年、泉鏡花文学賞を受賞。2006年神奈川から奈良に移住。2007年~2016年、奈良少年刑務所で社会性涵養プログラム講師。幼年童話から絵本・純文学・ノンフィクションまで幅広く執筆している。奈良少年刑務所関連の著作として『空が青いから白をえらんだのです 奈良少年刑務所詩集』など5冊を出版している。



もり・けん

作詞家として童謡の新曲をビクター、テイチクなどから発表する創作活動と、ハーモニカ奏者として日本の童謡や叙情歌のコンサート活動を国内だけでなくモンゴル、フィンランド、ペルーなどでも展開、童謡の普及に努めている。2017年に、モンゴル国政府より文化活動優秀者として褒章受章。また、ミュージカル作家としても「緑の星」「不思議の国のアリス」などを発表、文部科学省の財団法人すぎのこ文化振興財団により全国巡回公演中。たんぼの家が行うわたぼうし音楽祭審査員、親守唄・歌会の審査員長も務める。



伊藤樹里

1977年生まれ、奈良県在住。1995年よりたんぼの家で活動をはじめ。わたぼうし語り部のメンバー。聞く人を包み込むあたたかな語り口が特徴。一日4回のラジオ体操、紅茶づくり、「ニュース」かき、葉のカラ集め、鉛筆の削りカス集め、ラジオ深夜便を聞くこと etc...好きなこと、やりたいことが彼女の仕事である。



酒井靖

1959年、長野県塩尻市に生まれる。1979年に障害のある人たちの心を歌う「第4回全国わたぼうし音楽祭」作曲の部入選をきっかけに、1980年より「財団法人たんぼの家」のスタッフ。わたぼうし音楽祭、わたぼうしコンサート、わたぼうし語り部などの「わたぼうしプロジェクト」全般を担う。現在、一般財団法人たんぼの家エグゼクティブディレクター、奈良たんぼの会事務局長。

お問い合わせ

アートミーツケア学会事務局

〒630-8044 奈良市六条西3-25-4 一般財団法人たんぼの家内 URL: <http://artmeetscare.org>  
Tel: 0742-43-7055 Fax: 0742-49-5501 E-mail: [art-care@popo.or.jp](mailto:art-care@popo.or.jp)